

Linux 日本語版対応 Omni Driver Install Guide (Ver0.9.2)

IBM Infoprint1000Jシリーズ / IBM Infoprint1000JシリーズPAGESモデル

2004 年 09 月

このファイルでは、IBM Infoprint1000Jシリーズプリンター・ドライバー（PAGESモデル用ドライバー、RPDL用ドライバー）をLinux（日本語版）上でご利用頂くための手順をご説明をいたします。

このファイルに記述されている内容は、以下の通りです。

1. はじめに
  - 1.1 適合機種
  - 1.2 パッケージ入手先と種類
  - 1.3 動作環境
  - 1.4 ご使用の条件
2. プリンター・ドライバーのインストール方法
  - 2.1 注意事項
  - 2.2 必要なファイル
  - 2.2 インストール方法
3. テスト印刷

=====

## 1. はじめに

### 1.1 適合機種

本プリンター・ドライバーが対応する機種を以下にまとめます。

```
IBM Infoprint1316J
IBM Infoprint1336J
IBM Infoprint1356J
IBM Infoprint1316J PAGES
IBM Infoprint1336J PAGES
IBM Infoprint1356J PAGES
```

### 1.2 パッケージの入手先と種類

1.2.1 以下のURLより、Omniドライバーが入手可能です。現在のLinux環境に合ったOmniドライバーを入手します。

1. <http://omniprint.sourceforge.net/>にアクセスします。
2. Download OMNIのSource Forgeより、Omniドライバーを入手します。

1.2.2 上記WEB上より、配布されているパッケージの種類は下記のとおりです。

rpmパッケージ (xxxはOmniドライバーのバージョン数値)

```
Omni-x.x.x.i386.rpm
Omni-cups-x.x.x.i386.rpm
Omni-debuginfo-x.x.x.i286.rpm
Omni-foomatic-x.x.x.i386.rpm
```

\*今回の説明ではVer0.9.2を使用しました。

### 1.3 動作環境

本プリンター・ドライバー (Ver0.9.2) は以下の環境での動作が確認されています。

Fedora Core Project 提供の、  
・ Fedora Core 1 (kernel-2.4.22-1)  
・ Fedora Core 2 (kernel-2.6.5-1)

#### 1.4 ご使用の条件

上記の適合機種は、OmniドライバーのVersion0.9.2以降からの対応となります。

---

#### 2. プリンター・ドライバーのインストール及び印刷キューの作成

##### 2.1 注意事項【重要】

- ・以下のガイドによりインストール可能なバージョンは、Omni-0.9.2以降となります。
- ・以下のガイドは、お客様のLinux環境によっては操作方法が異なる場合があります。
- ・今回の作業は、インストールCDより全てのパッケージをインストールした場合の作業手順となります。
- ・最新版ドライバーのインストールの際には、依存性の問題でご利用頂けない場合もございます。この場合には、依存性のエラーをご確認して頂き、適したパッケージのバージョンアップが必要となります。

##### 2.2 必要なファイル

以下のファイルが必要です（入手方法については、上記“1.2”を参照）。

- ・Omni-0.9.2-1.i386.rpm
- ・Omni-foomatic-0.9.2-1.i386.rpm
- ・Omni-cups-0.9.2-1.i386.rpm
- ・Omni-debuginfo-0.9.2-1.i386.rpm

##### 2.3 インストール方法

1. 上記のファイルを適当な場所に保存してください。（ここでは/tmpに保存することにします。）

2. RPMを保存した場所に移動し、以下のコマンドを実行します。完了したら、ドライバーのインストール作業は終了です。

```
# rpm -Uvh --force ./Omni-*.rpm
```

3. 次に、印刷キューを作成します。メインメニューから「システム設定」→「印刷」と開き、「プリンタ設定」を起動します。〔コマンドラインでは、# printtool と入力〕

4. 「プリンタ設定」ツールが起動したら、「操作」→「新規プリンタ」を実行します。

5. 「新規印刷キューの追加」ウィザードが起動するので、「進む」をクリックします。

6. 「プリンタ名」画面になったら、「名前」項目に任意の名前を入力します。「関連情報：簡単な説明」も任意で入力します。入力が終わったら、「進む」をクリックします。

7. 「プリンタタイプ」画面に変わったら、「プリンタタイプの選択」で接続形態を選択します。

- ・パラレル接続の場合：「ローカル接続のプリンタ」→「/dev/lp0」を選択します。
- ・USB接続の場合：「ローカル接続のプリンタ」→「/dev/usb0」を選択します。
- ・LAN接続の場合：「ネットワーク上のUNIX (LPD)」→「サーバー」にはプリンターのIPアドレス、「プリンタ」にはプリンターのキュー名 (PASS) を入力します。

8. 「プリンタモデル」画面に変わったら、「製造元を選択」をクリックし、「IBM」を選択します。すると、プリンタモデルが一覧表示されますので、Infoprint1000Jの通常モデルの場合は、「IBM Infoprint 1356J」を選択します。なお、Infoprint1000J PAGESモデルの場合は、「IBM Infoprnt 1356J PAGES」を選択します。

9. 「完了、そして新規印刷キューを作成します」画面が表示されたら、「完了」を押します。「プリンタ設定」ツールにアイコンが登録され、「テストページを印刷しますか？」と質問メッセージが表示されますので、任意で決定してください。

10. 「プリンタ設定」ツール画面にて「操作」→「適用」を実行します。LPDが再起動され、作成した印刷キューがシステムに認識されます。

---

#### 3. テスト印刷

1. メインメニューから「システム設定」→「印刷」と開き、「プリンタ設定」を起動します。〔コマンドラインでは、# printtool と入力〕

2. プリンターを選択し、「操作」⇒「プリンタの編集」を実行し、用紙サイズ、入力トレイ等を設定します。

3. 「操作」⇒「適用」を実行します。

4. 「テスト」⇒任意のテストパターンを選択し（「CUPSのテストページ」など）、実行します。

---

(END)